

第9回 ウルトラ FM 番組審議会

1 開催年月日

令和2年12月18日（金） 10:00～11:20

2 開催場所

須賀川市民交流センターtette4階（4-3）

3 委員の出席

委員総数 6人

出席委員数 5人

（1）出席委員の氏名

堀江祐介（会長）

安藤清美（副会長）

横山知佳

真壁正人

久保木彩歌

（2）欠席委員の氏名

村上香織

（3）放送事業者側出席者

菊地大介（FM担当取締役）

柳沼宏延（放送局長）

鈴木辰也（スタッフ・パーソナリティ）

4 あいさつ

（堀江会長）

現在、新型コロナウイルスの感染拡大が続いています。須賀川市内での感染拡大は今のところありませんが、近隣の郡山市、福島市では広がり続けている。一人ひとりが新たな生活様式を意識し、取り組む必要がある。市民交流センターtetteの入館者数が100万人を達成し、県内外から大きな注目となっている。まちなかの賑わいにも繋がり、ウルトラFMも同様に良い番組づくりをし続けることで、多くの市民に愛されるラジオ局になると思うので、これからも頑張ってください。

(菊地担当取締役)

今年一年間は、新型コロナウイルスの一年でした。当初、2月、3月と学校が休校となり、番組のCMスポンサーも減少することが予想されていたが、スタッフのおかげで何とか、CMスポンサーが予想していたより減少せず、これもスタッフが食い繋ぐことに力を注いだおかげだと思います。振り返ると、4月以降、新たな生活様式として、会議等がインターネットでのリモート会議の利用が増えた一年でした。そのなかで、ウルトラFMでは、新たな試みとしてYouTubeなどの動画事業を行うことで、CMスポンサーへの影響が大きくなかったと思う。

5 議題

- (1) 「川田金太郎のウルトラがまだせ！ラジオ」(11月25日放送分)について
- (2) 年末年始の放送番組の改編報告について
- (3) その他

6 議事の概要

- (1) 「川田金太郎のウルトラがまだせ！ラジオ」(11月25日放送分)について
事務局からの概要説明の後、意見聴取を行った。

(安藤副委員長)

ウルトラFMの番組の中では異色で新鮮な番組と思う。特に、番組のテーマ曲が良く、週1回の放送ですが、毎回での番組のメッセージテーマではなく、月テーマが良い。外から見た須賀川市を感じられることは、須賀川で聴いているリスナーにとっては良いと思う。

(真壁委員)

番組構成がしっかりしていて、話もスムーズで聴きやすい内容でいるなど、とても良い番組と思う。

(久保木委員)

全体的に良い番組ともう。ただ、放送時間帯が午後8時なのは、私が思うに聞けない時間帯ではないかと思う。なかなか県外である長崎の情報を須賀川で聴けることは良く、そのためにも多くの人が聴ける時間帯に移動したらどうか。

(横山委員)

長崎で収録した番組を須賀川で放送するのはとても良いと思う。ただ、じっくり聞くには内容が伝わらないところがあった。今回、初めて聞いたので、次回から毎回聴き、内容を理解したいと思う。

(事務局)

委員の意見を受け、放送時間帯については番組改編時期に合わせて検討したいと思います。

(菊地担当取締役)

川田さんの番組放送の経緯として、祖父が須賀川市出身ということがあり、東日本大震災を機に、須賀川市で復興ライブを行うなど、毎年、自費で長崎から須賀川へ来ている。須賀川とゆかりが深い川田さんは、長崎では知らない人ないないくらい知名度ある。ウルトラ FM の開局以前から親交があり、その繋がり番組がスタートした。川田さんとは、今後も地域を超えた交流を行い、それがラジオを起点に行いたいと思う。

(堀江委員長)

川田さんとは、いろいろな縁で繋がり、今があります。ウルトラ FM を通じて、須賀川と長崎を繋げる良い番組と思う。川田さんは、須賀川市へ来た際には必ず介護施設を慰問するなど、須賀川との縁が深く、須賀川を大切にしている。芸能や歌手との関わりも深く、須賀川市にとっても大きな力になれる人と思う。

(2) 年末年始の放送番組の改編報告について

事務局の柳沼局長から説明が行われた。

説明後、出席者より質問等の発言は無かった。

(3) その他

(安藤副委員長)

現在、ウルトラ FM で市内の小中学校の校歌を放送しているが、学校でも聴ける時間帯での放送を考えてほしい。特にお昼の時間帯に検討してほしい。

また、来年1月で開局3年目を迎え、須賀川市民にはウルトラ FM を聴いている人が増えている。そのなかで、放送エリアの拡大を検討したらどうだろうか。鏡石町や天栄村のほか、玉川村や石川町などの石川郡エリアを。内容を充実させ、特に近隣市町村に須賀川市の理解を深めてもらうことで、さらなる魅力につながると思う。ぜひ検討を。

(菊地担当取締役)

小中学校の校歌の放送はとても好評を得ている。また、ラジオで市歌を放送しているが、合併した旧長沼町や岩瀬村の歌も放送してほしいとの声もあり、検討したい。

また、コミュニティ FM は1市町村に一局を総務省が決めているが、町、村にはコミュニティ FM を開局するだけの財源はないのが現状。そのため、どのように対応するかは考える必要がある。岩瀬管内にある須賀川市として、鏡石町、天栄村との連携はとても大切である。ただ、財源が問題。ラジオの電波を中継するアンテナを設置することで放送エリアは拡大され、岩瀬、石川

の各エリアまで対応できる。特に昨年は水害の被害があるなど、近隣市町村との連携は必至である。須賀川市では、現在放送しているラジオの出力を100Wまで出せる送信機の設置を行う予定で、災害時には有効的になる。ただ、放送エリア拡大には行政間での対応が求められる。

(真壁委員)

新たな視聴者層の獲得として高校生のための勉強番組を放送してはどうだろうか。時間帯は午後8時から9時の間ではどうだろうか」

(菊地担当取締役)

いわきFMでは、隔週に高校生に番組を作らせる内容を放送しているので、ウルトラFMでも出来ればと思います。

(久保木委員)

夜の8時台の聴衆率は分かりますか。

(事務局)

分かりませんが、サイマル放送のアクセス数は番組別でみると分かります。川田さんの番組は県外ではインターネットラジオでしか聞けないため、数は多いと思われます。実際のアクセスポイント接続数での報告ですと、他の番組よりは多いです。

(横山委員)

新型コロナウイルスの影響により、小中学校の音楽系の大会に出場するには、実際に会場での演奏ではなく、事前録音等での審査で行われました。例年ですと、会場に保護者達が見に行きますが、今年は演奏を聴くことが出来なかったのが、大会出場時に使用した音源をラジオで放送できないでしょうか。検討、お願いします。

(菊地担当取締役)

聴けない人のためにも、ラジオで放送できるよう対応を考えます。

(堀江委員長)

現在、商店街の街頭スピーカーでお昼と夕方の生放送の番組を流しているが、とても好評を得ている。まちなかにラジオが聞こえることで、まちなかに賑わいにも繋がる。

また、YouTubeでの動画配信も多くの人が見ているので、いいと思う。

そのほかに、新型コロナウイルス接触確認アプリである「COCOA」のPRをラジオでできるか検討してほしい。全国的にもダウンロード率が20%と低く、お願いしたい。

(菊地担当取締役)

商店街での街頭スピーカーでのラジオ放送は、イルミネーション点灯時のイベントからスタートした。何人かから、まちなかにラジオが聞こえることで安心と感じるという声を聴いている。

YouTube での動画配信は新型コロナウイルスの感染拡大に伴い、何かできないかと思いスタートした。これまで、松明あかしや、今後は成人式での動画配信を行う予定でいる。そのなかで、動画配信業務を仕事として繋げることではじめ、CM の動画制作依頼を受けている。今後も増える見込みで、動画の編集講座を仕事として繋げられるかと思うことから、今後の事業展開に大いに期待できる。

7 審議会の答申又は意見に対してとった措置の内容及び年月日

・特になし

8 審議会の意見の概要の公表

公表方法：自社ホームページへの掲載

公表内容：本議事録

公表年月日：令和2年12月25日

9 その他の事項

次回の放送番組審議会日程について

・令和2年3月を予定。開催日は会長と相談の上決定し、委員に連絡する。